

図2 羽田における強風予測値と実況値の比較時系列
濃青棒グラフ:強風ナウキャストによる予測、丸印:実況

2 突発的な局地豪雨・強風対策に 新しい気象数値システム「SYNFOS-3D」の予測技術

JWAは、GPS可降水量やレーダ等のリアルタイム観測データを同化させた気象数値システム「SYNFOS-3D」を開発しました(特願2008-226849(平成21年4月1日現在))。

「SYNFOS-3D」は、JWAがこれまで運用してきた気象数値モデル「SYNFOS」の新システムです。リアルタイムGPS可降水量とレーダ観測データを同化させることにより、課題とされていた数時間程度先までの降水予測精度の向上に成功しました。

平成20年8月26日から31日にかけて、東海、関東、中国及び東北地方などで記録的な豪雨をもたらした平成20年8月末豪雨の事例でも、「SYNFOS-3D」は6時間前にこの豪雨を予測しています(図1)。

河川管理、内水氾濫、各分野の安全管理などに、ご利用ください。

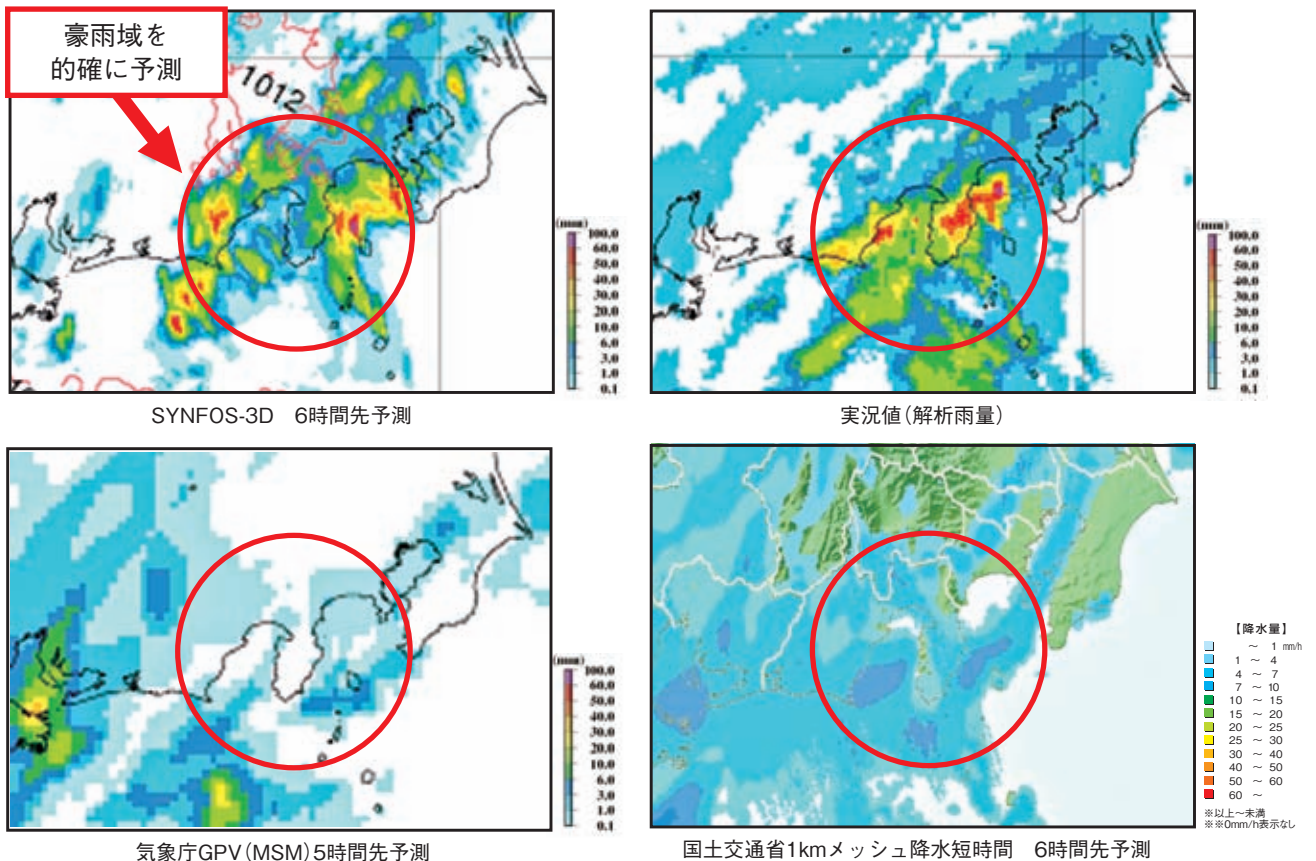


図1 SYNFOS-3D前1時間降水量予測例
(平成20年8月30日午前2時、赤丸は伊豆半島付近)